

明るく働きがいのある職場を求めて

明乳争議団があなたに贈る音楽の夕べ…♪♪♪

シンガーソングライター

ゲスト出演 **梅原司平**



人として生きる

職場の中では…

なぜこんなにも人として

生きるのが難しいのだろう…

プログラム

1部 『人として生きる』

明治乳業の職場から…

2部 梅原司平コンサート

2010年**11月19日**(金)

午後6時30分開演 (開場午後6時)

市川市文化会館小ホール

(席数450)

チケット(全自由席)

一般 1,500円

小中高生・障害者の方1,000円

Faxでお申し込みください。(裏面参照)

主催 「明乳争議団があなたに贈る音楽の夕べ」 実行委員会

連絡先 明治乳業争議支援千葉共闘会議 市川市鬼高2-6-2 TEL 047-332-5698

梅原司平 (うめはらしへい)

1946年富山県生まれ。
 1971年より音楽活動を開始。
 1975年全国シャンソンコンクール決勝進出。
 1979年モーリスフォークコンテスト入賞、CBSソニーオーディション関東甲信越代表。
 1980年ソニーより念願の全国デビューを果たす。
 しかしメジャーとはほど遠く歌の原点に戻ることを余儀なくされる。その後、全国を旅しながら数々の出会いと感動を重ねる中、オリジナルアルバムなどを多数制作。

1999年朝日新聞
 「この人が読みたい」に紹介され注目を集める。
 2003年NHKラジオ深夜便「こころの時代」出演が話題。
 NHKサービスセンターよりCD『生命の讃歌よこころに響け』発売。2004年アンコール放送。
 2008年6月キングレコードより再デビューアルバム『愛あればこそ』発売。11月講談社より『売れない歌手でよかった』刊行。現在もコンサートやCDを通して、広島・長崎への思いを歌った「折り鶴」や、子どもたちへのメッセージソング「ここへおいで」など、魂の歌を全国に届けている。



人として生まれて 人として生きる
 幸せになるために 人は生まれてきた
 めぐり合い紡いで 育んだものは
 悲しみや涙ではなく いつも変わらない 愛
 心まで 捨てないで 君のあしたに泣いている
 優しさを 止めないで 愛の形をささえて

この国に生まれて この国に生きる
 喜びをわかちあい 人はここまで来た
 限りある生命に 刻まれたものは
 憎しみや怒りではなく いつも変わらない 愛
 「人として」より 詞・梅原司平

明治乳業争議とは…

東京都労働委員会で明治乳業の不当な差別を告発する大阪工場の申立人
 糸賀 久氏



食の安全・安心 そして人間として 働きがいのある職場を求めて

私たちは、1960年代から今日まで、明治乳業で働き続けた全国64名の労働者です。明治乳業の長年に渡る不当な人権侵害や、イジメ、賃金差別等に抗して、その是正を求めて25年以上も運動(闘い)を続けています。
 「臨時、パート、派遣、期間工」、格差と貧困の象徴ともいえる、こうした雇用環境と様々な矛盾の中で、「健

康で働き続けたい」と願いながら多くの方が、いまを生きています。
 私たちも、「明るく健康で働き続けたい」が、運動の始まりです。
 「人を信じ、人の力を信じ、明るい未来に向かって前へ進みたい」と、闘いを続けています。
 皆様の一層のご支援をお願いします。

チケットの申し込み (お申し込みはFaxでお願いします。Fax番号 047-332-5698)

■ 一般チケット (1,500円)

枚数 枚

■ 小中高生・障害者の方 チケット (1,000円)

枚数 枚

■ 氏名

■ 住所 〒 -

TEL・携帯

所属
 ■ 団体名など